日刊工業新聞

年月日	23	10	19	ページ	18	NO.	

オーセンテック

生産性向上と環境改善に貢献

オーセンテック（相模原市南区、高田全社長）は板金加工品のバリ取り機や洗浄機の開発や販売が主業務。バリ取りを手作業から自動化できることで環境改善に寄与する製品が好評だ。

7月に発売した「オーデブ・イクノイア」は生産性と環境性能を両立させたバリ取り機。新構造のワーク吸着システムやブラシ揺動機構を採用することで、消費電力を抑え、小物ワークから大型ワークまで幅広く加工できる。新構造のワーク吸着システムにより、消費電力が同社従来機から30%減少。新型のブラシ揺動機構を採用し、広い範囲でも安定した加工が可能だ。

10月に受注を開始した「オーデブ・ブラックライン・ミニ」は、酸化被膜や溶着ドロス除去に特化したバリ取り機「ブラックラインシリーズ」における小型モデル。省スペースで既存の工場にも設置しやすく、小物ワークのドロスやバリを1人作業で除去できる。ワークのグリップ力を高めた特殊テーブルで、吸着ブロアを使用せずに小物ワークの固定が可能。

今後もユーザーの声を反映し、省人化やSDGs達成に貢献する製品開発を進めていく。

省スペースを実現した「オーデブ・ブラックライン・ミニ」

無断転載・複写禁止ⓒ㈱日刊工業新聞社